

## ICT を活用した学習支援について

### 1 臨時休業中の ICT を活用した学習支援について

紙の教材や電話等による支援に加え、家庭が所有している ICT 機器や学校が保有する端末を活用した学習支援に取り組んでいる。

#### (1) 家庭で学習を進めるための支援

##### ア 市教委からの共通課題

姫路市ホームページ内に開設した「姫路まなび応援サイト」に「姫路市共通課題」を掲載

##### イ 各学校からの個別課題

学校ホームページ等を利用した各学校からの学習課題の提示

高校向け学習支援サービス（授業動画配信サービス）の導入

##### ウ さらにチャレンジ

小学校、中学校向け学習ドリルソフトの導入

「G Suite for Education」（Google の教育サービス）を活用した学習課題の配信や回収

#### (2) 学校と児童生徒の関係を継続するための支援

##### ア 学校ホームページからの情報発信

##### イ 「G Suite for Education」を活用した学校と家庭の双方向コミュニケーション

#### (3) 家庭の ICT 環境整備支援等

##### ア 通信環境整備補助

家庭におけるインターネット環境整備に係った費用に対する助成

##### イ 学習用端末の貸出し

##### ウ 学習用端末の来校利用

### 2 今後の ICT を活用した学習支援について

Society5.0 の到来に向け、ICT を活用した「主体的・対話的で深い学び」を通して、求められる資質・能力の育成や、その基盤となる「読み・書き・計算」の確実な習得を図り、姫路市の未来を担う人材を育成するため以下の取組を行う。

#### (1) わかる授業づくり

ア 子供たちの興味・関心を高め、創意工夫に満ちた授業を目指す。

イ 「調べ学習」や「協働学習」を通して、主体的に学ぶ態度や情報を活用する力を育む。

#### (2) 個別最適化学習

ア 多様な子供の一人一人の個性や置かれている状況に最適な学びの実現を目指す。

イ 繰り返しが必要な知識・技能の効果的な習得を図る。

#### (3) 遠隔教育（研究校）

ア 場所や時間に制約されず「だれでも」「いつでも」「どこでも」学べる環境の具現化を目指す。

イ 多様な意見、専門的な知識、海外の言語や文化等にふれる機会をつくる。

# 臨時休業中のICTを活用した学習支援について

## 児童生徒の学習環境の確保に向けて、家庭学習への支援の充実を図ります

### ■ 基本的な考え方

児童生徒が自宅等にいる状況であっても、規則正しい生活習慣を身に付け、学習を継続するとともに、学校再開後も見据え、学校と児童生徒との関係を継続することを目指します。

### ■ 指導・支援の方針

紙の教材に加え、可能な限りICTを活用した指導・支援を行います。

### 家庭で学習を進めるために

#### ■ 市教委からの共通課題※

「姫路まなび応援サイト」からの発信

- 予習が中心

#### ■ 各学校からの個別課題

- 復習が中心（予習もあり）
- 課題プリント等
- 学習支援サービス※（高）

#### ■ さらにチャレンジ

- 学習ドリルソフト※（小・中）

『G Suite for Education』を活用した学習課題配信・回収など※

### 学校と児童生徒との関係を継続するために

- 電話・手紙

- メール配信・学校ホームページ※

- 面談・相談（希望及び状況による）

『G Suite for Education』を活用した面談・相談※

- 家庭のICT環境整備支援等

- 通信環境整備補助
- 学習用端末の貸出し
- 学習用端末の来校利用

# ICTを活用した学習支援について

## ■ 基本的な考え方

Society5.0の到来に向け、ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」を通して、求められる資質・能力の育成や、その基盤となる「読み・書き・計算」の確実な習得を図り、姫路市の未来を担う人材を育成する。

### わかる授業づくり

- ・子供たちの興味・関心を高め、創意工夫に満ちた授業を目指す。
- ・「調べ学習」や「協働学習」を通して、主体的に学ぶ態度や情報を活用する力を育む。

### 個別最適化学習

- ・多様な子供の一人一人の個性や置かれている状況に最適な学びの実現を目指す。
- ・繰り返しが必要な知識・技能の効果的な習得を図る。

### 遠隔教育（研究校）

- ・場所や時間に制約されず、「だれでも」「いつでも」「どこでも」学べる環境の具現化を目指す。
- ・多様な意見、専門的な知識、海外の言語や文化等にふれる機会をつくる。

## 子供の多様化に応じた学習

	令和2年度	令和3年度	令和3年度までに目指す取組	
学び支援	<p>家庭学習支援 (姫路まなび応援サイト) (学習ドリルサイト) (Meet)</p> <p>わかる授業づくり 「調べ学習」「協働学習」</p> <p>個別最適化学習 「基礎学力定着」(1人1台端末環境)</p> <p>遠隔教育(研究校) 「外国語教育」「他校との協働学習」</p>		<p>・インターネットやプレゼンテーションソフトを使って、教科書に示された「調べ学習」活動に取り組む</p> <p>・授業等で学習ドリルサイトを活用し「個別最適化学習」に取り組む</p>	
教師支援 研修	<p>研修(基本操作スキル)</p> <p>研修(ビジョン説明)</p> <p>年次研修(初任,2,3,5,中堅,15年研修)、情報モラル研修、校内研修支援</p>	<p>研修「協働学習」に使うソフトの研修 レベル1</p> <p>研修「調べ学習」に使うソフトの研修 レベル1</p>	<p>研修 レベル2</p> <p>研修 レベル2</p>	令和3年度までに目指す研究校の取組
教師支援 研究	<p>教育研究員 「ICTの日常利用」「学校を結ぶ遠隔教育」について2年間研究</p> <p>実践(活用事例・学習コンテンツ等)収集・発信</p>		<p>・総合的な学習の時間、特別活動、特別の教科道徳等で「遠隔教育」に取り組み多様な地域・価値観にふれる</p> <p>・ALTや海外との遠隔による「外国語教育」に取り組む</p>	
環境整備	<p>1人1台端末整備(9月より順次整備)</p> <p>SINET接続、校内LAN増強(7月より順次増強)</p>			
保護者支援	<p>Wi-Fi環境整備補助</p> <p>端末貸出し</p>	<p>情報モラル啓発・発信</p> <p>GIGAスクールサポーター</p>		